

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	選挙執行管理・啓発事業
担当部課名	総務課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・投票率向上に向けた取組内容精査 ・投票所、ポスター掲示場の拡充 ・主権者教育 ・投票率向上

調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・20代、30代はどの選挙でも投票率が低い。 ・移動投票所については、検討課題が多く、実現が難しい。 ・掲示場所の変更は厳しい。 ・参議院選で期日前投票3か所のうち、駅前の投票所をリボンとりでからアトレ取手に変更したことにより、投票者数が6,414人(37%)から9,453人(40%)に増加した。(カッコ内は、期日前投票所3か所のうち、駅前の割合)
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・20代、30代へのアプローチができていない。 ・小・中・高校での啓発が必要 ・国政選挙に比べ市長選、市議選の投票率が低く情報が少ない。 ・投票所、ポスターの掲示場所の見直しが必要 ・移動投票所について課題の洗い出しと、実施に向けての検討
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に向けて、選挙割の実施やSNS等を活用した情報発信 ・ポスター掲示場の見直し ・移動投票所実現に向けての課題の洗い出し ・期日前投票の場所、持ち物なしのPRを重ねる。 ・主権者教育の拡充（教育委員会へ模擬議会等）

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	地域防災力の強化事業
担当部課名	安全安心対策課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の強化 ・未結成地区の活動状況、今後の取組 ・自主防災会、防災士との連携状況 ・避難所開設訓練実施状況 ・備蓄状況
調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会は14箇所が未結成、(令和6年度は神住地区で防災会発足) ・自主防災会未結成地区では市政協力員と意見交換を行い、情報共有の場の確保や説明会などを実施 ・備蓄倉庫の備蓄量(人数や日数分)に課題
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未結成地区は、人口減少で高齢化が進む。自主防災会結成をゴールとするのは難しいのではないかと。 ・令和5年、6年は、水害時避難想定訓練とシェイクアウト訓練を実施しているが、住民主体の避難所開設・運営訓練が必要
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校単位の避難所開設訓練を実施し、自主防災会の有無にかかわらず住民同士のコミュニケーションを図り、一緒に場を作り上げる経験を積むことを目指す。 ・実際に近い訓練をすることにより、備蓄の課題や運営課題など、自分事として考えることになり、共助をより具体的なものにする。

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	空き家等の適正管理事業
担当部課名	安全安心対策課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家は増加傾向にあるが、適正管理はできているか。 ・空き家の適正管理（実態調査）、利活用状況（対象空き家の対応） ・近隣住民の困り感の解消

調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家は数千件把握している。 ・管理不全空き家は令和6年度では239件と増加傾向 ※雑木などの問題は所有者を調べ、郵送で対処依頼 ・空き家等台帳管理システム導入、管理効率と精度が上がった。 ・空き家等利活用媒介制度の紹介を行っている。（持主の意向） ・様々な情報と照らし合わせながら対応 ※固定資産税の詳細については、課が違うため不明
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者不明の空き家の対応は課題 ・管理者に働きかけても、適正管理が進まないケースもある。
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・資産価値があるうちに、利活用制度を利用促進、適切な情報発信と情報提供 ・固定資産税を回収できるようにしていくため、税に関して民間に委託する。 ・高齢化、認知症発症等で判断ができない状態になる前に対策してもらおうよう促すため、出前講座の開催や司法書士との連携強化を行う。 ・固定資産の無料査定、不動産業界との更なる連携（民間委託） ・広報予算を拡大する。 ※予算の使途は空き家に特化した広報誌の発行やイメージ動画を作成、周知を図る。市内高齢者団体へのアプローチ

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	移住定住推進事業
担当部課名	政策推進課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容・効果について ・移住の契機となる理由等の調査、現状把握 ・人口増で活性化につなげるため。

調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後、都内等からの転入超過傾向、若い世代の転入転出が多い。 ・交通アクセスの良さ、値ごろ感、環境の良さ ※ゆめみ野、青柳、井野に新築一戸建て購入移住増 ・外国人の転入転出の多さ・外国人の把握について ・人口問題総合研究所、総合計画では2040年9万人目標 ・住ま入るプラン・結婚支援事業等の市施策の効果
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の生活基盤整備が課題 ・様々なツールを使ってアピールしているが、もっとアピールできる余地があると感じる。 ・人口減少を如何に食い止めるか、若者移住定住促進策の強化
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクを有効活用し、若者世帯が安い賃金で住めるよう、定住促進する仕組みづくり。 ・既にインフラが整備され、一戸建ての住宅棟が建てられる優良な土地が多数あるのでそこもPRしていく。

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	ふるさと取手応援寄附金の募集・活用事業
担当部課名	財政課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな財源確保につながる。 ・寄附金増額のための取組、返礼品の検討などの現状

調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金の目的は①財源の確保②地域経済活性化③市のPR ・返礼品提供事業者を増やすために公募で案内 ※令和2年度12社から令和6年度56社に増加 ・アルコール飲料に対する翌日発送等の取組を強化 ・ふるさと納税金額の増加傾向の要因
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール飲料に比重が偏り過ぎている。 ・アルコール飲料については、価格競争でなく、サービス提供で差をつける必要がある。 ・中小事業者への支援強化 ・ふるさと納税額の使途、財源としての考え方
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール飲料に頼り過ぎない施策の展開 ・返礼品の種類を増やすために、新たな商品開発のために業者への補助金の交付をする。 ・ふるさとへの寄附金との基本理念

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	高齢者等移動支援事業と地域公共交通計画策定について
担当部課名	高齢福祉課、都市計画課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況の確認 ・高齢者の移動手段を増やし、スムーズにするためには。 ・移動を支える人材確保の取組

調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援の需要増、担っている4団体のボランティアは現状維持から減少傾向。 ・ドライバー養成の講習会(移送サービス運転認定講習会)を年2回実施し4名増加したほか、引退ドライバーに再依頼 ・タクシー助成券を移動支援団体にも利用可能にし、タクシー利用が増加した。また移送サービスの予約困難も要因である。 ・免許返納後、70歳以上の方を対象に3か月3,000円でコミバス定期券を発行している。 ・地域公共交通計画において、移動支援の一部を担うための制度設計を検討している。
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーボランティアの確保が大きな課題 ・講習会を受ける人はいても、ボランティア登録に繋がらない。 ・免許返納への訴求効果のある施策がない。 ・市民のライフスタイルの変更への準備が不足しているため、免許返納が進まない。運転できなくなって初めて返納するため、急に移動困難者となる。 ・免許返納後の移動手段整備が課題
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・講習受講者に対し、丁寧にフォローすることで、ドライバー登録へつなげる。 ・住民主体の移動支援立ち上げへのフォロー ・オンデマンド交通を新たに事業化することで、本当に移動支援が必要な人に福祉有償運送を使ってもらえるようにする。 ・4団体との市とのヒアリング回数を増やす。

令和6年度一般会計決算審査における重点調査シート

調査担当班：1班（佐藤・関川・久保田・根岸・岡口）

事業名	道路維持補修事業
担当部課名	管理課
調査理由 (現状の課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況確認 ・補修計画と達成率の詳細

調査・ヒアリングの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市道約1,000km。補修必要箇所は1級市道が60km 2級市道が25km ・補修修繕計画の年次計画があり令和3年度道路調査を実施し、令和8年度に再度調査予定。 ・悪い路線については、図面を作成し、把握できるようにしている。 ・直営（市担当職員5+2人体制）陥没や側溝、雑草除去など対応 ・ライン通報アプリもあるが、直連絡の方が多い。 ・要望達成率713/739箇所96%以上 ・地方債を予防・修繕にあてている。 ・ライフラインの老朽化（施設の老朽化、管の入れ替えが必要） ・ふれあい道路を、市道から県道に昇格させたい。 ・戸頭からバイパスが通る予定（取手→守谷→つくばみらい）取手豊岡線
課題の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・直営で修繕している箇所が多い。 ・下水道、水道管など老朽化が進み、その工事が入ると、補修した道路がまた継ぎ足したような跡が残る。
課題に対する方策の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
方策の内容や方向性 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・直営を委託にして、道路の補修修繕を速やかにする。 ・予算確保による外部発注 ・他の組合との連携を密にして、綺麗な道路、効率的な道路補修を試みる。